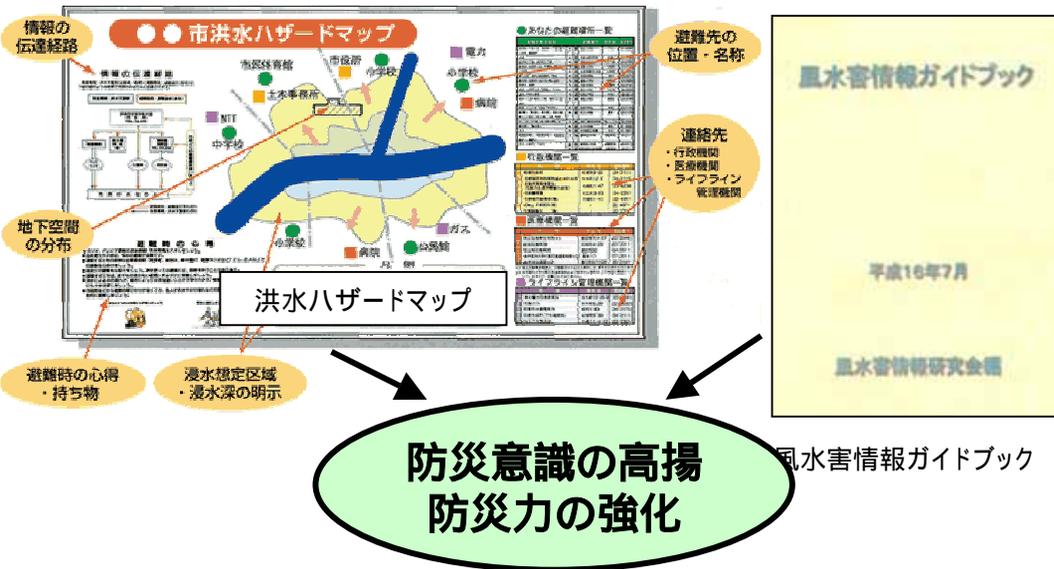


# テーマ4 危機管理

## 災害情報支援室による地域の防災力向上支援と

## 風水害に対する防災啓発キャラバン

【背景】大規模水害の被害軽減のために、確実な情報伝達の重要性がクローズアップ  
【ねらい】風水害に対する防災意識の啓発により地域の総合的な防災力強化



### 展開イメージ

河川災害情報普及支援室では、水防活動の技術的支援として、機械化水防に関する技術講習会を各開発建設部で実施します。

危機管理演習等を通じて洪水時の臨機に対応等について技術の向上に努めます。

防災機関への防災啓発として「風水害情報研修会」(防災啓発キャラバン)を開催し、ガイドブックや水防法改正に係る取り組み等の普及と啓発を目指します。

防災啓発キャラバンは反復して実施し、効果的な災害対応への活用を図ります。

【平成17年度実施】(旭川開発建設部管内)

・7月25日 名寄市市民文化センター

・7月28日 旭川市身障者福祉センター

### これまでの取り組み

#### 河川災害情報普及支援室

- ・平成17年2月に河川災害情報普及支援室を全道9開発建設部に設置
- ・道内各自治体に対して災害対策に関する各種支援を行う。

#### 風水害情報ガイドブックの作成

- ・平成17年6月に学識経験者、国土交通省河川局、気象庁などから構成される風水害情報研究会により、効果的な災害情報の活用を目的として風水害情報ガイドブックを作成

## テーマ4 地域との協働による危機管理体制づくり 防災情報の共有化

【背景】頻発する自然災害で防災関係機関の情報共有が課題

【ねらい】防災関係機関の情報を共有化し、リアルタイムで提供することにより、自治体の迅速かつ的確な防災対応を支援

### 展開イメージ

防災対策の効率化・高度化を実現し、上川地域全体の防災体制の強化を図るため

平成17年度は

- ・ 上川管内の水防連絡協議会や道路・火山防災協議会等を活用し、情報を共有する防災機関や自治体の拡充を図ります。
- ・ 共有する防災情報の内容の充実を図ります。

### これまでの取り組み

平成15年秋 河川・道路情報等の共有化に関して、各機関相互で検討開始  
H17.3.22 防災情報の共有に係る協定を旭川地方気象台、北海道上川支庁、名寄市と締結  
旭川地方気象台、名寄市と光ケーブルを接続し、運用開始した

# コミュニティFMとの連携

【背景】災害等緊急時において、幅広く迅速な情報提供のニーズあり

【ねらい】地域住民、道路利用者へ防災情報を的確に提供



## 展開イメージ

地域住民および道路利用者へ幅広く道路情報を提供することにより、災害時における住民の適切な対応を支援する。

地域住民および道路利用者へ迅速に道路情報を提供することにより、安全な通行を促進する。

## これまでの取り組みと成果

道路情報提供の締結を取り交した。

平成17年6月24日：「株式会社ラジオふらの」

平成17年6月24日：「株式会社旭川シティネットワーク」

実施時期：平成17年6月24日から

平成18年3月31日まで

# 国道情報連絡所の拡充

**【背景】**H15台風10号等災害時の現場業務の支障(問合せ対応集中、迂回作業の混乱等)  
**【ねらい】**新たな情報提供拠点の構築と道路管理者の問合せ対応に係る負担軽減を図る



店頭にFAX用紙をそのまま掲示します

専用掲示板を設置



## 展開イメージ

上川南部地域へのエリア拡大を目指し、地元自治体からの意見を踏まえた国道情報連絡所の候補施設を選定し、ボランティアを登録する。

国道情報連絡所の機能高度化を目指し、道路利用者に有効な情報項目の追加の可能性を検討する。

道路利用者との連携を強化し、道路利用者からの情報提供を充実させるために、国道情報連絡所に情報収集機能を追加する。

道路種別を問わない、広範囲な情報提供を実現する為に、旭川土木現業所と連携して、道道に関する情報提供の実現に向けた協議・検討を行う。

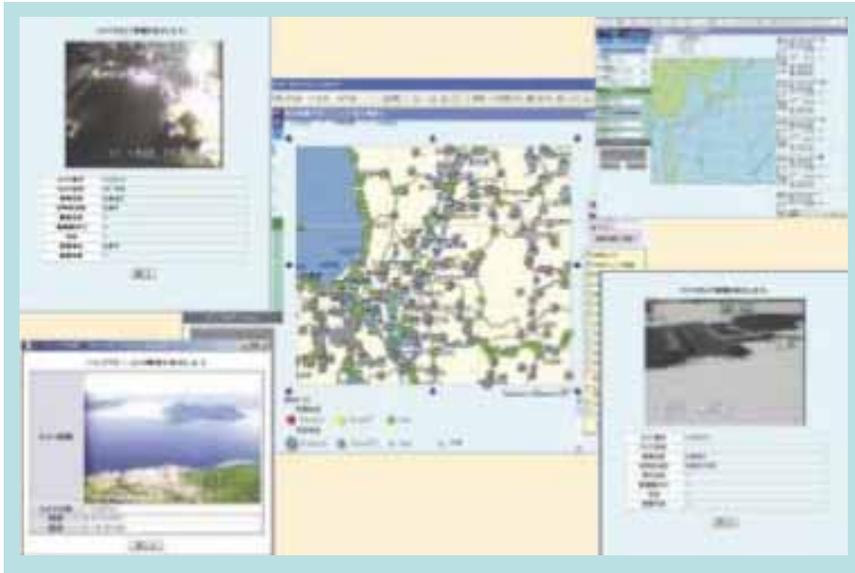
## これまでの取り組みと成果

- H16上川北部・中部で国道情報連絡所開設  
(北部: 箇所、中部 箇所)
- 道路利用者PR用パンフレットの作成・配布
- 国道40号の通行規制に関する情報提供を実施

## 地域支援

【背景】道路防災を推進するため、地域の防災情報を提供し支援を図る

【ねらい】地域の防災能力の向上(的確な災害情報の入手と防災対応)



### 展開イメージ

国道情報連絡所の管内全域への設置拡大をとおして、地域への道路防災情報の提供を図り、地域防災を支援する。

地域防災情報図の作成・配布をとおして地域防災情報を提供し地域防災を支援する。

地域防災情報共有WANシステムの管内における利用拡大を推進し、地域防災情報の共有化と相互の連携強化を図る。

地域コミュニティFM局と「災害緊急事態等における非常放送に関する協定」を締結し、地域防災情報の提供を推進する。

### これまでの取り組みと成果

H16年度:

上川北部・中部で国道情報連絡所開設

(北部: 箇所、中部 箇所)

地域防災情報図の地図面の作成

地域防災情報共有WANシステムの運用開始

# 防災教育支援

【背景】近年、台風や地震災害が多発している

【ねらい】いざという時に、自ら身を守る最低限の知識を身につけてもらう



## 展開イメージ

土木学会が作成した「必須!!防災知識: DVD」を利用して、地域の人々が災害に対して安全に対応できるよう支援する。

道路防災期間中に開催する「災害対策用機械見学会」で、「必須!!防災知識: DVD」の上映会を開催する。

「必須!!防災知識: DVD」を教育関係者・防災関係機関・NPO・一般家庭へ貸出し、地域住民の防災知識の普及を支援する。

道路防災連絡協議会において、防災知識の向上に活用する。

## これまでの取り組みと成果

平成16年度： 冬期防災講習会を開催 (H16.12.22)

暴風雪と大雪の発生メカニズム

(講師: 旭川地方气象台、技術課長)

雪害の発生条件と防災対策

(講師: 日本気象協会北海道支社)

# 災害対策用機械等の見学会開催

【背景】多発する台風や地震災害に対し、道路防災の重要性を理解する

【ねらい】災害対策用機械の見学会を通して道路利用者の防災意識向上を図る



## 展開イメージ

道路防災週間にあわせて、地元小学生や一般の方々を対象として、「災害対策用機械等見学会」を開催する。

様々な災害から皆様の生活と財産を守るために災害対策用機械を保有し、いつでも出動できるように準備をしていることを分かりやすく説明する。

## これまでの取り組みと成果

毎年、道路防災週間に合わせて、各事務所・事業所の1箇所で、災害用機械見学会を開催している。